

Happy-Hamakan-News (HHN)

http://www

浜医看学発 第5巻 第4号

2019年3月号

浜田医療センター附属看護学校

64期生卒業式、予餞会、謝恩会・・・1～4P

66期生模擬患者演習・・・7～8P

オープンスクール春のお知らせ・・・10P

66期生基礎看護学実習I(その2)まとめの会・・・5～6P

65期生国家試験対策セミナーを受けて・・・9P



64期生 29名

ご卒業おめでとうございます！！

独立行政法人国立病院機構
浜田医療センター附属看護学校
〒697-8512 島根県浜田市浅井町 777-12
TEL0855-28-7788
mail : kanri-t@hamakan.nh.jp
http://www.hamakan-nh.jp/

発行責任者 石黒眞吾
編集責任者 高下智香子
編集 田儀千代美、小田川良子、畑中美保、崎本美子、
山岡富美香、福嶋洋子、平田洋子、
三家本八千代、尾川ひとみ、岩成美樹、
松野由香、金山和正



～64期生卒業式～

この3年間、多くの方に支えられて看護師になるために大切なことをたくさん学ぶことができました。未熟な私達を快く受け入れて下さった、患者様をはじめ、皆様には深く感謝いたします。

特に3年間の臨地実習での看護実践の学びは、自分自身の成長につながったと感じています。その中でも印象に残っているのは、腹腔鏡下で胆嚢摘出術を受けたA氏との関わりです。A氏は術後の疼痛を鎮痛薬でコントロール中でしたが、完全に取れない痛みに対して、「どうして自分には薬が効かないのだろうね」と不安を話されました。この時、A氏の思いに耳を傾け聞くことしかできませんでした。A氏との関わりに悩んでいた時、実習指導者から

「足浴は副交感神経を優位にして、リラックス効果がある。A氏の疼痛緩和に取り入れてはどうか」という助言を頂いたので、翌日、足浴を実施することにしました。足浴中のA氏は終始穏やかな表情で趣味の話や楽しみ等について話されました。また、今抱えている痛みに対する思い、退院後の生活への不安も話されました。私はこれまで疼痛緩和は薬剤を主として行うことだと思っていました。しかし、この実習を通して足浴という日常生活援助は患者さんにリラックス効果を与えるとともに、患者さんとのコミュニケーションの場となり、精神的な苦痛の緩和につながることがわかりました。これからは、患者さんの思いに寄り添い、日常生活援助を通して、その人らしい生活を過ごすことができるよう関わっていきたいと思います。

教職員の皆様、私達64期生は大人しく静かなクラスで反応の少ないことが多々あったと思います。先生方は、そんな私達に真摯に向き合ってください、一人一人の性格や個性を踏まえ関わって下さいました。最後まで私達のことを信じて下さりありがとうございました。

在校生の皆様、学校行事等を通して、ついてきてくれてありがとうございました。これから看護師を目指す中でたくさん悩み、不安を抱え、時には逃げ出したくなる時があると思います。しかし、悩むこと不安を抱えることは決して悪いことではなく、自分が学ぶ・成長するための大切な過程であると思います。1人で悩まず、周りの仲間に声をかけてみて下さい。かけがえのない大切な仲間と協力し切磋琢磨しながら、これからも充実した学校生活を送って下さい。

そして、看護師になりたいという夢を誰よりもそばで見守り応援してくれた家族には「ありがとう」の一言では表せないくらい感謝の気持ちでいっぱいです。3年間学習に専念できる環境を整えてくれてありがとうございました。私は、「出会いに感謝しなさい」という家族の言葉を常に大切にしてきました。浜看で多くの人と出会い、その仲間と学校生活を送れたことに本当に感謝しています。これからの人との出会いも大切にして頑張っていこうと思います。

また3年前、ここにいる64期生の仲間と出会い、講義や実習、学校行事、そして国試、どんな時もこの仲間と多くの時間を過ごしました。それぞれの個性がぶつかりあったり、たくさん悩み、涙を流し、喜びを共有してきました。64期生はたしかに静かで大人しい学年ではありますが、みんな1つのことに向かって協力するときの力はすごいものだと感じます。私はそんな64期のことが大好きです。これからは、それぞれ違う道を歩みますが、この3年間で学んだことを胸に、理想とする看護師像に向けて努力していきたいと思います。

私達は今日、皆様に見守られながら、この学び舎を巣立ちます。本校で学んだことをはじめ、出会った方々から頂いた大切な学びを深く胸に刻み、今後も看護師として日々努力を惜しまず精進していきます。

今後、社会の中で貢献することを誓って答辞とさせていただきます。



3年生 佐々木 駿

卒業生への後輩からのメッセージ

第64期生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。今こうして、卒業を迎えられた先輩方の前に立ちますと、これからの看護の道を歩いていくという決意を持ち、希望に満ちた皆様の眼差しはとてもまぶしく感じられます。そのような先輩方は私たち後輩の誇りであり、本日こうして先輩方の旅立ちを見送ることができることを大変うれしく思います。先輩方との出会いは二年前の入学式でした。高校とは全く違う看護の道を選び、ここにいる誰もが緊張し、看護学生としてやっていけるのかと不安を感じていました。そのような私たちに先輩方は明るく話しかけてくださり、不安や緊張が和らいだことを覚えています。その日から今日のこの日まで先輩方は私たちを支えてくださり、ことあるごとに背中を押してくださいました。去年の秋の学校祭では私たち二年生が主体となり学校祭と浜田駅北医療フェスタを合同開催し、多くの方に来場していただきました。

私は模擬店をしましたが、一つ一つの担当の進捗状況について丁寧にどこまで進んでいるのかをいつも確認していただき、物品の配置や衛生管理についての指示をしてくださいました。一年の時に一度やっただけの私たちがイメージでき、当日の成功につながっていったのは、先輩方が支援して下さったおかげだと感謝しております。そして、私たち二年生は一月から本格的に実習や看護師国家試験の勉強が始まり、先輩方は朝早くからきて夜遅くまで学校や、通学中の交通機関でも勉強を重ねられていました。一日一日が無駄にならないように時間を有効に使っておられる姿に尊敬の念でいっぱいです。私たちも先輩方のように一日一日を大切に過ごしていきたいと思いました。

先輩方はこれからそれぞれの未来に向かって歩まれることと思います。時にはこれまで以上の困難にぶつかることもあるかもしれません。そのような時は、この看護学校で仲間とともに過ごしたことを思い出してください。多くの困難を乗り越えてこられた先輩方ですから、これからの経験を糧として成長していかれることと信じています。そのようなたくましく優しい先輩方は私たち後輩の目標です。先輩方が教えて下さった学習への取り組み方についてのメッセージを大切に、私たちはこれまで以上に講義や実習に意欲的に取り組み、お互いを高めあいながら看護師になるための一つ一つの課題を乗り越えていきます。



2年生 山崎 香菜



～予餞会 2019～

66期生は予餞会に初めて参加し、お礼の気持ちを込めて3年生に歌を歌いました。短い準備期間でしたが、3年生に喜んで頂きたいという思いで皆一生懸命練習しました。当日は良い形で歌を披露することができ、少しでも3年生の心に響いていればと思います。

私にとって3年生は実習や国家試験を難くこなされ、とても遠い存在に感じていました。しかし、予餞会を通して3年生は不安をたくさん抱えながら私の思っている以上に努力されてきたことを知りました。私達66期生はもうすぐ2年生となり、後輩ができます。勉強や実習に対して努力を惜しまず、3年生のように後輩から目標とされるような先輩になりたいです。そして、それぞれの道を歩まれる3年生たちには、自分らしく浜田医療センター附属看護学校で学んだことを活かしながら頑張ってもらいたいです。



1年生 二上 穂乃香





～64期生謝恩会～

今回行われた謝恩会では、3年生全体で協力して無事に終えることができました。忙しく大変な中でも謝恩会に対してクラス全体の協力体制がよかったと思います。夏頃から実習と国家試験の合間をぬって準備に取り掛かってきました。私たちは総括として会場との連携や各係と進行状況を調整すること計画していましたが、国家試験を控えている中で報告、連絡が遅れ中々思うように進まない場面もあり、チームをまとめることの難しさや連絡、報告の大切さを学びました。謝恩会当日では大きなトラブルもなく、スムーズに実施でき、謝恩会に参加して頂いた来賓の方々にも好評であったと聞き、私たちの感謝の気持ちが伝わったのではないかと感じました。64期生や相談に乗って下さった教員、参加して下さった方々に改めて感謝したいと思います。これから64期生は別々の道を歩むこととなりますが、新しい場所でそれぞれの道を頑張っていきたいと思っています。



3年生 田邨みなみ 村上瑠璃

～1年生(66期生)基礎看護学実習Ⅰ(その2)まとめの会～

1 基礎看護学実習Ⅰ(その2)の振り返り会を通して、各病棟の意見交換をすることで自身の知識がより一層身についたと言えます。私は5階北の病棟で実習をさせていただき、たくさんの実技を実践することができました。実習指導者と共に行った振り返り会では、私が担当させていただいた患者さんのおむつ交換・陰部洗浄の再現をしました。効率よく実技を行うことも大切ですが、患者さんに負担を掛けないようにすること、汚染した手袋の処理の仕方、ヒヤリハットの可能性等を見つけることができました。各病棟の意見交換の時に、ある学生から「尿漏れパットのつけ方が分からないから教えてくれないか?」と質問があったので、ホワイトボードで尿漏れパットのつけ方の図を描いて説明しました。すると、クラスの皆に「なるほど!」と理解してもらうことができ、他の学生と情報共有できたことがとても嬉しかったです。私が実践した実技をみんなに知ってもらうことができ良かったと思いました。



1年生 人見 文子

これからの勉強・実技においても、情報共有とクラスメイトの大切さを忘れずに、頑張っていきたいです。

<実習指導者と学生の意見交換>



～1年生(66期生)基礎看護学実習Ⅰ(その2)振り返りの会～

2月21日に基礎看護学実習Ⅰ(その2)の振り返りの会が行われました。今回は病棟の実習指導者さんも交え、実際に臨床現場へ行き学んだ点や疑問点等を事例として挙げ、援助技術を実践しながらグループディスカッションを展開しました。

実習指導者さんを交えてのディスカッションであったため、常に臨床現場で患者さんに援助技術を行っているからこそわかる患者の個性にあわせた看護について、より深く考えられる時間となりました。今回の振り返りの会を通し、私自身に不足していることや新たな課題が明確となったため、次回の実習に向けて、学内での演習や自己学習を進めていきたいです。



1年生 細田 夏望

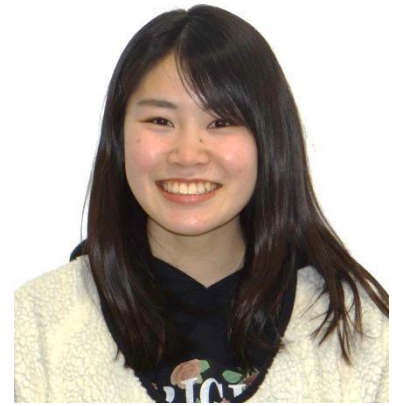


基礎看護学実習とは、看護学生が最初に行うこれからの学習の基本となる実習です。まず5月に2日間、入院患者さんの療養環境を整える重要性を学び、その後、解剖学や生理学など多くを学習します。そして療養中の患者さんへの身体の拭き方、車イスへの移乗など技術の練習を重ね、試験に合格できた学生が2月に5日間の患者さんへの援助を行うプログラムです。66期生は全員が実習を終了し、得られた学びをこのまとめの会と振り返りの会によってさらに深めることができました。生き生きと学習に取り組む学生に、大きく期待します。

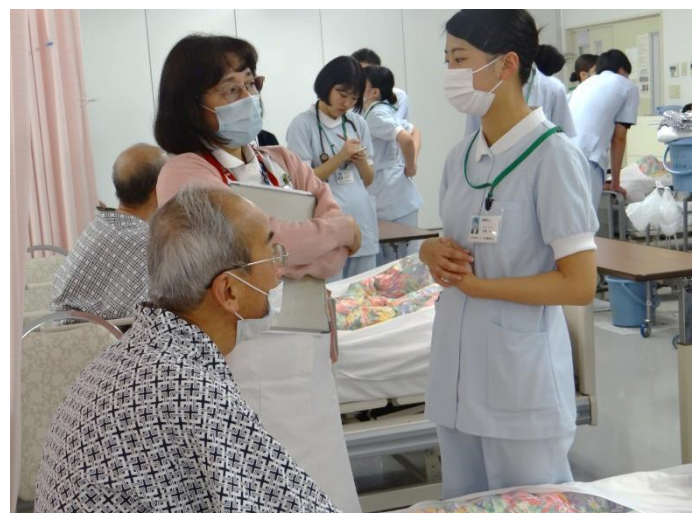


～1年生(66期生)模擬患者演習～

私達1年生は、シルバー人材センターの皆様の協力を頂き模擬患者演習を終えることができました。今年は、基礎看護学実習Ⅰ(その2)が20日後に控えているため模擬患者演習に病棟の指導者さんの参加もあると聞き、「バイタルサイン測定」「寝衣交換」「清拭」の練習を重ねましたが、実施になると緊張で手が震えました。実際に模擬患者さんへ血圧測定や清拭を行い多くの学びをえました。模擬患者さんからは、「声が小さい」「体の拭き方が弱い」等意見を頂きました。その時、同級生ではそのような意見はなかったので、改めて対象者にあわせた声かけの大切さを実感しました。又指導者さんからは、患者さんへは安全に提供することを指導いただきました。模擬実習で発見できた課題を改善し、実りの多い実習になるように全力で取り組んでいきます。シルバー人材センターの皆様、指導者の皆様ありがとうございました。



1年生 山本 夏実





基礎看護学実習 I (その2) の直前に、毎年恒例になりました模擬患者演習を今年は、実習指導者会議と合わせて行いました。

演習後には、指導者の方々から多くのアドバイスを頂き熱心に聞き入っていました。その姿は初々しくとても頼もしく、実習が楽しみになりました。

また、模擬患者演習の方との意見交換では、忌憚のない意見を聞き、実習に向けてより練習が必要だと実感しました。シルバー人材センターの方々、実習指導者の方に感謝致します。

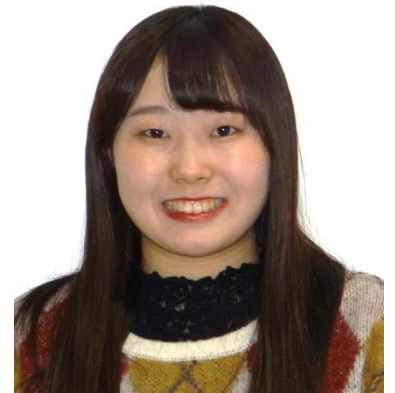


～2年生(65期生)国家試験対策セミナー～

私は今回の講義を聴いて、国家試験に対しての勉強の方法を再度見直す必要があると感じました。講師の先生のノートを実際に拝見させていただきました。ノートはとても見やすく、自分が必要だと思ったことをつけ加えられるように空白のところを残されていました。ノートを見やすく・症状別にまとめることで3年次から本格的に始まる看護実習にも活かせることを知りました。

自分なりのまとめ方で今回の見させていただいたノートを参考にしながら学習に取り組んでいきたいと思えます。先輩たちが国家試験を終えられ本格的に私たちの番になります。国家試験の全員合格を目指して分からないことをクラスで共有し合いながらお互いの学びを深めていきたいと思えます。

今回の講義を通して、改めて日々の学習の大切さや国家試験の厳しさが分かりました。また、自分自身の国家試験対策を開始の遅さを感じました。そのことを反省し、残りの時間を有意義に過ごせるように学習に取り組んでいきたいです。



2年生 高野 莉子

<東アカ国家試験対策セミナー>



アクセス

[お問い合わせ先]

独立行政法人国立病院機構
浜田医療センター附属看護学校

〒697-8512 島根県浜田市浅井町777-12 ☎0855-28-7788

－ 資料請求は公式ホームページから －

<http://www.hamakan-nh.jp/>

※その他ご不明な点などありましたら、お気軽にお問い合わせください。



スマホを
ご利用の方は
こちらから

今後の予定

2019年

- | | | |
|----|--------|------------|
| 4月 | 5日(金) | 始業式 |
| 4月 | 6日(土) | オープンスクール春 |
| 4月 | 10日(水) | 入学式 |
| 5月 | 7日(火) | ナイチンゲール生誕祭 |
| 5月 | 24日(金) | 学生フォーラム |
| 7月 | 19日(金) | 終業式 |
| 7月 | 20日(土) | オープンスクール夏 |

2019.4.6(土)

浜田医療センター附属看護学校

OPEN SCHOOL

学ぶ・はぼたく・看護師になる！



おいでよ! はまかん



■対象 高校生、社会人
13:30~16:30 (受付13:00~13:30)

■内容

- ハンドマッサージ、沐浴、創傷処置、
血圧測定体験 心音の聴診体験
- 模擬授業、看護学生との交流会
- 看護教員による進路相談
【個別相談をご希望の場合は、申込時にお知らせください】
※各プログラム内容は都合により変更の可能性があります

申込は電話 0855-28-7788 または
ホームページから
締切 4月5日(金) 17時迄

当日は、上履き用の靴と靴入れ、筆記用具をご持参ください。
また、動きやすい服装(ジャージなど)でご参加ください。

申込連絡先(オープンスクール担当)
浜田医療センター附属看護学校
電話番号 0855-28-7788
FAX番号 0855-28-7789
<http://www.hamakan-nh.jp/>

所在地: 浜田市浅井町777-12
JR浜田駅前浜田医療センター隣 無料駐車場 有



お申込み
お待ちしております!
います!